

# 70th Anniversary 京響

70周年記念事業

## 京都市交響楽団

# プロコフィエフの陣

City of Kyoto Symphony Orchestra 交響曲全曲演奏会 Prokofiev Symphony Cycle

指揮 **沖澤 のどか** (常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

会場 **京都コンサートホール**

Kyoto Concert Hall

©京都市交響楽団

### プロコフィエフの陣「壺」

Prokofiev Symphony Cycle I

2026 **開演**  
**5.3** 日 午後2時30分  
(午後1時30分開場)

Sun(national holiday), May 3, 2026 / 2:30PM

プロコフィエフ:

交響曲 第1番ニ長調 op. 25「古典」

交響曲 第2番ニ短調 op. 40

交響曲 第3番ハ短調 op. 44

Prokofiev:

Symphony No. 1 in D major op. 25 "Classical"

Symphony No. 2 in D minor op. 40

Symphony No. 3 in C minor op. 44

### プロコフィエフの陣「貳」

Prokofiev Symphony Cycle II

2026 **開演**  
**7.18** 日 午後2時30分  
(午後1時30分開場)

Sat, July 18, 2026 / 2:30PM

プロコフィエフ:

交響曲 第4番ハ長調 op. 47(初版/1930年)

交響曲 第5番変ロ長調 op. 100

Prokofiev:

Symphony No. 4 in C major op. 47 (Original Version/1930)

Symphony No. 5 in B-flat major op. 100

### プロコフィエフの陣「参」

Prokofiev Symphony Cycle III

2026 **開演**  
**11.28** 日 午後2時30分  
(午後1時30分開場)

Sat, November 28, 2026 / 2:30PM

プロコフィエフ:

交響曲 第6番変ホ短調 op. 111

交響曲 第7番嬰ハ短調 op. 131「青春」

Prokofiev:

Symphony No. 6 in E-flat minor op. 111

Symphony No. 7 in C-sharp minor op. 131 "Youth"

©京都市交響楽団

助成：公益財団法人アフィニス文化財団



**3回セット券** 2026 **2.7** から **5.2** まで発売

**A 15,000円 B 12,000円** (会員 A: 13,500円 B: 11,000円) ※会員=京響友の会、Club会員

**1回券** 2026 **3.14** から発売

**A 6,000円 B 4,500円 P 3,000円** (舞台後方席)

U30  
前売

【一般発売に併せて販売】 **A 2,500円 B 1,500円**

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際には年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。 ※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。 ※販売席数は限定。

U30  
当日

【当日残席がある場合のみ発売】 **A 2,500円 B 1,500円 P 1,000円**

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。 ※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。 電話や窓口での事前予約はできません。 席種は選べますが、座席指定はできません。

**チケットご予約**

- 京都コンサートホール 075-711-3231
- ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
- 3回セット券 Pコード308-609
- 1回券 (3公演共通) Pコード308-610

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。

◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

お問い合わせ 京都市交響楽団 075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>  
京都コンサートホール 075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/各公演1週間前までに京響075-222-0347へお申込みください)

◆10枚以上でのチケットお申込みには団体割引(10%OFF)があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



# 京都市交響楽団 プロコフィエフの陣 交響曲全曲演奏会

City of Kyoto Symphony Orchestra  
Prokofiev Symphony Cycle

創立70周年を迎える京都市交響楽団と常任指揮者・沖澤のどか、セルゲイ・プロコフィエフ（1891～1953）が生涯で作曲した全7曲の交響曲を3公演に分けて演奏する「プロコフィエフの陣」に挑みます。きっかけの一つは、「関西6オケ2024」で京響&沖澤が演奏したプロコフィエフ「ロメオとジュリエット」コレクションでの名演でした。《京響らしく！》のちの財産となるために70周年事業の様々な可能性を模索する中で、京都にも滞在したとされるプロコフィエフが作曲した交響曲チクルスへの想いは高まりました。

ハイド的な簡潔さにモダンなユーモアと洗練を加えた軽快な第1番「古典」から、前衛的な試みと劇的な物語性、戦争を経て辿り着いた苦悩と葛藤が表現される中期作品や晩年の抒情性を秘めた第7番「青春」まで、作風が激しく変遷したプロコフィエフの「真髓」に全7曲を通して迫ります。1年間で一人の指揮者がプロコフィエフの全7曲の交響曲を指揮する試みは世界的にも稀有であり、国内でも極めて珍しい画期的な取組となります。京響&沖澤の技術と情熱を結集し、クラシック音楽界に新たな衝撃を与える歴史的な瞬間を、どうぞお聞き逃しなく！

指揮 沖澤のどか（常任指揮者）

Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

2019年プザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール（指揮）優勝。第28回（2020年度）渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第21回（2022年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回（2023年度）毎日芸術賞ユニクロ賞、青森市長特別未来賞、令和6年度京都市芸術新人賞など受賞多数。2024年2月、総監督・小澤征爾氏の生前の指名でセージ・オザワ松本フェスティバル史上初の首席客演指揮者に就任。サイトウ・キネン・オーケストラへは同フェスティバルで2022年にモーツァルト『フィガロの結婚』を指揮して初登場、2025年にはブリテン『夏の夜の夢』を指揮した。ミュンヘン響2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏のアシスタント。2025/26シーズンは、ロンドン・フィル、ドルトムント・フィル、ボストン響へデビュー、エストレマドゥーラ響、ウィニペグ響、メルボルン響へ再登場のほか、タスマニア響とオーランド・フィルも指揮する。また、最近の特筆すべきデビューとして、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管、N響、バーゼル室内管、ケベック響、BBCウェールズ・ナショナル管での成功が挙げられる。日本でも読響、都響、N響、日本フィルなどへ定期的に客演。東京二期会では2020年11月にレハール『メリー・ウィドー』、2025年2月にはビゼー『カルメン』を指揮した。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイズラー音楽大学ベルリンでC.エーヴァルトとH.D.バウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。

## 京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ロームシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。



©井上写真事務所 井上恵和

## 京都市交響楽団

自主公演ラインナップ &  
70周年記念事業の詳細は  
京響ホームページから！

<https://www.kyoto-symphony.jp/> ▶



～京響&沖澤のどかによる  
各種公演情報等も！～



©京都市交響楽団

## 助成：公益財団法人アフィニス文化財団



### アフィニス エンブレム

「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として選ばれました。

## 【選考理由】

セルゲイ・プロコフィエフ。音楽史において例外的といつてもよい能力を持ちながらも、激動する時代の中で数奇な運命をたどらざるを得なかった異端の作曲家。その知性、その技術、そしてその屈折はまさに現代のわれわれと共にある。いま、このみじめな世界のなかで彼の交響曲全曲を演奏することを決断した、沖澤のどかと京都市交響楽団に心からの賛辞を。3つのコンサートがどのような啓示をもたらせてくれるのか——畏れとともに待つばかりだ。

沼野 雄司（アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員）